



市場動向I Trends in the Market for Organic Acid

有機酸の市場動向

編集部

クエン酸、リンゴ酸、乳酸等の有機酸は、清涼飲料水をはじめ加工食品の酸味付けや味の調節、pH調整などを目的に幅広く用いられている。ここ数年は食品分野での需要量は大きな変化ではなく市場規模は横ばいで推移している。炭酸飲料のバラエティ化や猛暑を乗り切る熱中症対策のための飲料など、今までとは違うニーズも出てきているが、概ね安定的。一方で有機酸は原料の価格変動の影響を受けやすく、穀物や原油などの価格動向、特に最近は円安の影響が表面化してきており、値上げせざるを得ない状況になっている。本稿では、原料の動向について注視しながら、各有機酸サプライヤーの動きをみていく。

円安が価格に及ぼす影響

食品分野での有機酸の役割は、酸味付与や味の調節、pH調整などが主で、清涼飲料水の需要動向により年ごとに若干の増減はあるものの、ここところ安定した需要が続いている。しかし、有機酸（およびその原料）はほぼ輸入品であるため、今年に入って為替の影響が浮き彫りになり、極端な円安への変動が大きな影を落としている。有機酸類は製品的に他社との違いを出せる部分が少なく、価格勝負となりやすい。特にクエン酸でその傾向は強く、最近の価格競争の激化は憂慮すべきものである。クエン酸は競合が多く各メーカーの製品の違いが少ないため価格メリットを求めるユーザーがより安価な製品に切り替えてしまうという懸念があるため、なかなか価格を上げられないようだ。リンゴ酸は円安に加え、無水マレイン酸の原料となるベンゼンの価格上昇もあ

り、トップシェアの扶桑化学工業が20%の値上げを発表しており、酒石酸は昨年から段階的に値上げされている。コハク酸とフマル酸もベンゼンの価格上昇の影響を受けて値上げが行われている。グルコン酸、乳酸でも値上げが検討されている。今後、為替がすぐに円高に向かうとは限らず、価格面での早急な対処が必要と思われる。

国内での主な有機酸サプライヤーは表1のとおり。

クエン酸

クエン酸は、食品用途では主に酸味付けや酸味の強化・補正を目的に、炭酸飲料、低果汁飲料、スポーツドリンク、アルコール飲料など飲料分野を中心に利用がある。非食品分野では洗浄剤やメッキ用途などで利用されている。日本国内のクエン酸及び塩類の需要量は推定45,000トン、うち食品向けと非食品向けが半々程度の需要とみられている。

世界的なクエン酸製造企業は、カーギル、ADM、テイト&ライル、ユングブンツラワー、中国では、潍坊英軒实业有限公司（Weifang Ensign Industry）、日照金禾生化集团股份有限公司（RZBC）、COFCO Biochemical（旧BBCA）、山东柠檬生化有限公司（TTCA）、宜興協聯生物化学有限公司（Yixing-union：イーシン・ユニオン）が中心となる。

日本市場でのクエン酸サプライヤーは、扶桑化学工業、昭和化工、磐田化学工業の3社を中心に、ユングブンツラワーの欧州品を取り扱う丸善薬品産業、中国大手メーカーの製品を輸入販売する各商社がある。市場は、①中国品だが国内大手の国産ブランド、②中国以外の海外品、③商社による中国からの輸入品、という三極構造を呈している。

最近のクエン酸の輸入量は表2のとおり。輸入の9割が中国から。現在のクエン酸の価格はキロ330～430円ほど。最終製品の動きが落ち着いているため需要量に変化はないが、今年に入り為替の影響をダイレクトに受けてしまっている。クエン酸の価格競争は昨今激しさを増す一方で、価格メリットを求めて供給先を変更されてしまうケースもあり、サプライヤー側は値上げできる状態ではなかった。ところがここにきて、円安で2割も値上がりし、さらに中国企業側も、人件費や製造コスト、物価上昇などが進み、そのコスト上昇分の値上げを要求しているところもあるという。今まで続いた価格競争でサプライヤーは疲弊しきっており、競争するにも限界が来てい

表1 各種有機酸の呈味特徴、主な原料と主なサプライヤー・販売会社

品目	呈味	主なサプライヤー・販売会社
クエン酸	爽やかな酸味	扶桑化学工業、昭和化工、磐田化学工業、丸善薬品産業（ユングブンツラワー）、キリン協和フーズ、エー・ティー・エム・ジャパン、研光通商、森下産業、島貿易、オーウィル、森村商事、アグロケミ
リンゴ酸	爽快な酸味、わずかに渋味	扶桑化学工業、磐田化学工業、昭和化工、森下産業、研光通商、昭光通商、キリン協和フーズ
乳酸	やわらかみのある穏和な酸味	ピューラック、武蔵野化学研究所、B&Gジャパン、扶桑化学工業、昭和化工、エー・ティー・エム・ジャパン、研光通商、ユングブンツラワー・ジャパン、興和、キリン協和フーズ、磐田化学工業
グルコン酸（GDL）	おだやかな酸味	扶桑化学工業、丸善薬品産業、アグロケミ、理研ビタミン、ユングブンツラワー・ジャパン
酒石酸	やや渋味のある酸味	昭和化工、扶桑化学工業、サンライト、興和、磐田化学工業
アシピン酸	マイルドな酸味	旭化成ケミカルズ
コハク酸	コクのある酸味	日本触媒、川崎化成工業、扶桑化学工業、キリン協和フーズ、磐田化学工業
フマル酸	清涼な酸味	日本触媒、川崎化成工業、三井化学、扶桑化学工業、昭光通商